

石川県珠洲市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	市内における新規創業・開業数【8.3、8.9】	2019年3月 （2015年～ 2018年） 23 店舗	2021年 （2020年～ 2021年） 18 店舗	2022年 （2020年～ 2022年） 24 店舗		2030年 （2020年～ 2030年） 40 店舗	60%
2	本市への転入者数【8.3、8.9】	2019年3月 （2015年～ 2018年） 234 人	2021年 243 人	2022年 226 人		2030年 295 人	-13%
3	交流人口数【12.b、12.8】	2019年3月 1,062 千人	2021年 614 千人	2022年 680 千人		2030年 1,300 千人	-161%
4	人材育成プログラムの修了生【4.7】	2019年3月 183 名	2021年 218 名	2022年 232 名		2030年 300 名	42%
5	人材育成プログラム修了生の市内定着率【4.7】	2019年3月 26 名	2021年 30 名	2022年 27 名		2030年 45 名	5%
6	地域資源活用型ビジネスの育成数	2019年3月 3 件	2021年 5 件	2022年 5 件		2030年 5 件	100%
7	環境教育に関する講座などの開催回数【6.6、6.b、14.2、15.1、15.5、15.c】	2019年3月 1 回	2021年 1 回	2022年 1 回		2030年 3 回	0%

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 （%）
1	課題解決型の人材 養成事業の発展	人材育成プログラムの修了生	2019年3月 183 名	2021年 218 名	2022年 232 名		2024年 250 名	73%
		人材育成プログラム修了生の市内定着率	2019年3月 26 名	2021年 30 名	2022年 27 名		2024年 35 名	11%
2	地域循環共生圏 （持続的な地域保 全活動）の構築	環境教育に関する講座 などの開催回数	2019年3月 1 回	2021年 1 回	2022年 1 回		2024年 2 回	0%
		地域資源活用型ビジネス の育成数	2019年3月 3 件	2021年 5 件	2022年 5 件		2024年 5 件	100%
3	能登SDGsラボの設 立運営	人材育成プログラム修了 生の市内定着率【再掲】	2019年3月 26 名	2021年 30 名	2022年 27 名		2024年 35 名	11%
		市内における新規創業・ 開業数	2019年3月 （2015年～ 2018年） 23 店舗	2021年 （2020年～ 2021年） 18 店舗	2022年 （2020年～ 2022年） 24 店舗		2024年 20 店舗	120%
		本市への転入者数	2019年3月 （2015年～ 2018年） 234 人	2021年 243 人	2022年 226 人		2024年 295 人	-13%
		地域資源活用型ビジネス の育成数【再掲】	2019年3月 3 件	2021年 5 件	2022年 5 件		2024年 5 件	100%
		交流人口数	2019年3月 1,062 千人	2021年 614 千人	2022年 680 千人		2024年 1,300 千人	-161%
4	域学連携の推進	環境教育に関する講座 などの開催回数【再掲】	2019年3月 1 回	2021年 1 回	2022年 1 回		2024年 2 回	0%
		交流人口数【再掲】	2019年3月 1,062 千人	2021年 614 千人	2022年 680 千人		2024年 1,300 千人	-161%
5	先端アートプロジェクトによる地域の 魅力発信及びインバウンド促進	交流人口数【再掲】	2019年3月 1,062 千人	2021年 614 千人	2022年 680 千人		2024年 1,300 千人	-161%
6	国内外地域との連 携支援の拡大	人材育成プログラム修了 生の市内定着率【再掲】	2019年3月 26 名	2021年 30 名	2022年 27 名		2024年 35 名	11%
		交流人口数【再掲】	2019年3月 1,062 千人	2021年 614 千人	2022年 680 千人		2024年 1,300 千人	-161%

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

- 指標No.1「市内における新規創業・開業数」の計算式については、「現状値/目標値」を使用。
- 指標No.2「本市への転入者数」は、R4はR3と比較し減少しているものの、転入者数及び移住相談件数ともに、数年単位の傾向としては増加基調にあることから、「奥能登国際芸術祭」を中心に、更なる地域の魅力化と発信に努めるとともに、移住相談窓口の機能強化に努めていく必要がある。
- 指標No.3「交流人口数」については、前年度（R3）に比べると回復傾向にはあるものの、依然としてコロナ禍以前の水準には達していない状況にある。令和5年5月5日の地震の影響もあったが、本市として可能な限りの復旧復興を行っていることに加え、現時点での観光客の入込数も増加しつつある状況であり、「奥能登国際芸術祭2023」により多くの観光客に来ていただけるよう、取り組みを行っているところである。
- 指標No.5「人材育成プログラム修了生の市内定着率」の増加には、まずは受講生の増加に努める必要がある。人材育成プログラムと新規事業創出プログラム（R3開始）について、戦略的に情報発信を行っていく必要がある。
- 指標No.7「環境教育に関する講座などの開催回数」について、能登地域がトキ放鳥の候補地として選定されたこともあり、放鳥に向けた環境教育に関する講座についても企画・実施していく必要がある。